

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策設置工事				整理番号	573		枝番号		
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	598	
係名 設計係					上位施策名				No		
予算事業名 道路の路面改良					コード	58150		水害対策の推進			10
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				3 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区雨水流出要請対策要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)						
	道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透樹・浸透地下埋管を設置する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 浸透樹設置箇所数				(1) 時間あたりの累積浸透量							
(2) 浸透地下埋管設置箇所数				(2) 時間あたりの累積浸透量							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		箇所	130	95	130	120	130	605	19.8	
	活動指標(2)		m	68	58	100	84	100	410	20.5	
	成果指標(1)		/h	91	67	91	84	91	424	19.8	
	成果指標(2)		/h	45	38	66	55	66	271	20.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,540	13,347	15,747	11,543	20,040	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 浸透量 浸透樹 0.7 /h/箇所 浸透地下埋管 0.66 /h/m 目標値 13年～17年度の累計とする		
	(内)委託費		千円	23,540	13,347	15,747	11,543	20,040			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.31	0.26	0.22	0.22			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,396	2,788	2,338	1,979			1,979
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	28,936	16,135	18,085	13,522	22,019			
	単位あたりコスト ÷		円	222,585	169,842	139,115	112,683	169,377			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	28,936	16,135	18,085	13,522	22,019				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	92.3	活動指標(2)の15年度達成率%	84.0	15年度予算執行率%	73.3			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			路面改良工事と併せて施工しているため、施工条件(境界杭・電柱・汚水桝ますなどの構造物がある場合)により、設置不可能な場所がある 総合治水対策の一環であり、又自然環境を守るためにも不可欠な事業のため、障害物を避けてできるだけ設置している。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	他の治水対策として環状七号線の地下調節地や、和田弥生下水幹線などの整備も進んでいるが、水害の発生する地域はいまだにある。総合治水の一環として、雨水の河川への流出を抑制する必要がある。また地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水害が発生している
	今後の予測	総合治水の一環として、流域対策(雨水浸透施設設置)を時間当り10mmを目標として積極的に推進する。また雨水循環による自然環境保全に効果があるため、事業を進めて行く必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。地下水の涵養や緑勢の回復など環境保全に役立つ。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 工事の効率を高めるため、専門の企業に委託する。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 道路の路面改良事業と併せ、効率的な執行を行っている。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が管理する道路で行うため、受益者負担は、できない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 最小の経費で浸透施設を設置している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 総合治水の一環の事業である。浸透柵・地下埋管などの施設を、道路の路面改良事業と併せて設置しつづけることで、経費の削減と効率化が図れる。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立つ。このことから、今後も同様に事業を進める必要がある。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施工条件により、計画的に事業が進まないため、工法等を見直していく必要がある。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 総合治水の一環として、今後とも事業を継続していく必要がある。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防応急対策				整理番号	580		枝番号				
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	607		
係名				計画調整係				上位施策名		No			
予算事業名				水防対策		コード	59500		水害対策の推進		10		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		40年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京都水防条例						
	区域全体(水害発生のおそれのある区域)の区民の生命及び財産				(3) 杉並区地域防災計画								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)								
土のう手配及びポンプ排水作業などの水防活動				迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り、被害を最小限にする。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 緊急水防作業委託回数				(1) 土のう積み回数									
(2) 水防態勢回数				(2) ポンプ排水回数									
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	回	2	1		1							
	活動指標(2)	回	5	4		4							
	成果指標(1)	個	1,503	532		66							
	成果指標(2)	回	4	0		0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,087	585	5,032	1,941	5,032	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 水害発生時の対策であり、計画・目標値ともに設定できない。コストについても水害規模により異なる。				
	(内)委託費		千円	1,732	49	4,500	965	4,500					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.43	0.43	0.30	0.31	0.33					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,867	3,867	2,698	2,788	2,968					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	7,954	4,452	7,730	4,729	8,000					
	単位あたりコスト ÷		円	3,977,000	4,452,000		4,729,000						
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	7,954	4,452	7,730	4,729	8,000						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%			活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	38.6				
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自分の生命と財産は自分で守るという意識を高めるため、広報紙により啓発を行っている。また、地域の水害に対する危険性を知り、水防、避難場所、生活上の工夫に役立つように14年度作成した「杉並区洪水ハザードマップ」を便利帳に添付した。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	被害件数 S60 - 300件 元年-453件 H5 - 284件 H11 - 180件 H12 - 3件 H13 - 47件 H14 - 7件 H15 - 39件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	都市型水害時、土のうの手配、ポンプの設置等の対応が遅いので、迅速に作業を行ってほしいとの要望がある。
	今後の予測	現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 近年、集中豪雨による地下浸水などの被害が多くなっており、土のう積み・ポンプ排水による被害の軽減が必要となっている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 土のう積、ポンプ排水等の作業委託
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考え方はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 集中豪雨時には、土のう要請が区に一斉集中するため、水防配備態勢の限られた人数だけでは、迅速な対応は難しい。このため区民が自衛できるように、土のうなどを事前に各家庭に貸し出しのお知らせを広報に掲載する。また、「杉並区洪水ハザードマップ」を窓口閲覧、杉並区公式ホームページ及び便利帳に掲載したことによって、区民の防災意識の高揚を図る。また、地下施設を有する建物を建築する場合には、浸水や内水に強い建物計画をお願いする。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各家庭での土のう積みや保管を容易にするために、貸し出し土のうの小型化を行う。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 建設局や下水道局と、被害の情報を検討し、協働して被害の発生を防ぐ。下水道局と共同して、被害の発生しそうな家屋に対して、防災意識の高揚を図る。既に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防訓練				整理番号	581		枝番号			
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	608	
係名					計画調整係					上位施策名		No
予算事業名					水防対策					コード		59500
										水害対策の推進		10
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40		年度			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例、東京都水防計画 (3) 杉並区地域防災計画					
	水防管理団体(区)と消防関係機関等											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				区と消防署、消防団、防災市民組織等と合同で水防演習を実施する。							
事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)				消防関係機関等と合同で水防演習を行うことにより、水防技術の習得、研鑽及び水防意識等の高揚を図る。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 合同水防演習実施回数				(1) 参加人員総数								
(2)				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		17	年度				
指標	活動指標(1)	回	1	1	1	1	1	1	100.0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	377	380	377	377	380					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,126	1,124	1,136	1,115	1,136	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	640	641	650	630	650				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.09	0.09	0.06	0.06	0.07				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	809	809	540	540	630				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	1,935	1,933	1,676	1,655	1,766				
	単位あたりコスト ÷		円	1,935,000	1,933,000	1,676,000	1,655,000	1,766,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	1,935	1,933	1,676	1,655	1,766					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	98.2			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		演習参加職員をローテーション化し、多くの職員が必ず参加できるようにしている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地下室を備えた住宅や集合住宅が増え、集中豪雨による地下浸水の被害が増加している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水防演習に対する要望・苦情は特にはない。
	今後の予測	現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 水害時に区だけでの活動には限界があるため、合同で水防演習を行い、消防関係機関等との連携や、水防態勢の強化を図る必要がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 合同で水防演習を行い、水防技術の高揚を図っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 演習参加者をローテーション化することにより、水防活動に対する職員の意識の高揚と技術の習得を図る。さらに、消防関係機関等との連携の強化を図る。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 演習内容については、よく検討し、消防関係機関等と協議・調整していく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 既に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。演習内容の工法をよく検討し、最近の様々な被害に対応していく。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		テレメーターシステム維持管理				整理番号	582	枝番号		
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001	連絡先電話番号	3422	昨年度整理番号	609	
係名				計画調整係		上位施策名			No	
予算事業名				水防対策		水害対策の推進			10	
事業開始年度				●昭和 ○平成		40年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)				
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京都水防条例、東京都水防計画				
区域全体(水害発生の恐れのある地域)の区民の生命及び財産						(3) 杉並区地域防災計画				
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				雨量・水位の観測装置等の計画的改修及び維持管理。防災気象情報の収集。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)				
活動指標名(式)				(1) 保守点検回数 (2) 防災気象情報の収集日数		台風・集中豪雨時の正確な情報を速やかに収集・把握し、迅速な水防活動を行うことにより、被害を最小限にする。				
成果指標名(式)				(1) 雨量・水位の観測装置及び気象情報を活用した水防態勢の回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		17年度	年度		
指標	活動指標(1)	回	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)	日	365	365	366	366	365	365	100.3	
	成果指標(1)	回	4	4		4				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,165	11,545	8,161	7,790	8,160	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	6,328	4,200	4,200	4,200	4,200		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.78	0.79	0.54	0.56	0.60		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,015	7,105	4,857	5,037	5,396		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	17,180	18,650	13,018	12,827	13,556		
	単位あたりコスト ÷		円	8,590,000	9,325,000	6,509,000	6,413,500	6,778,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	17,180	18,650	13,018	12,827	13,556			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	95.5			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		維持管理経費を見直し、経費設定を行った。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域以外でも被害が出るようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水位警報装置のサイレンがうるさいなどの苦情がある。
	今後の予測	現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被害軽減のための迅速な水防活動を行うためには、正確な雨量・水位の観測値、精度の高い気象情報が必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 水防総合システムの各装置を正常に作動させるための保守点検委託
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考え方はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 既に維持管理経費の削減を行ってきている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 設置時期から経年化し、テレメータ装置の老朽による維持管理経費がかかる。実施計画に基づき、テレメータ装置全体を改修することで、さらなる維持管理経費の削減とシステムの効率的な運用を進める。			
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 テレメータのシステム設計や機器の改修費用が高額なため、耐用年数に達した機器から順次改修していく。				
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	設備の老朽化に伴い監視局1局の改修を行う。また、借地先の建築工事完成に伴い、現在撤去している局舎1基(警報局、水位局)の改修を行う。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水浸透施設設置工事への助成				整理番号	583		枝番号				
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221004		連絡先電話番号	3424		昨年度整理番号	610		
係名		技術管理係				上位施策名			No				
予算事業名		雨水流出抑制対策工事助成		コード	59850		水害対策の推進			10			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				6年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月7日) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月15日) (2) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月15日)								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他												
	敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
総合治水対策・雨水循環による自然環境保全の一環として、雨水流出抑制施設(雨水浸透ます等)の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。				①浸水被害を軽減する。 ②地下水と湧水の涵養と緑勢の回復									
活動指標名(式)				成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 助成件数				(1) 雨水の1時間当りの浸透量(単年度)									
(2) 助成金額				(2) 雨水の1時間当りの浸透量(平成6年度からの累計)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	17年度	年度					
指標	活動指標(1)		①	件	46	33	50	36	50	50	72.0		
	活動指標(2)		②	千円	14,237	11,240	18,000	12,032	18,000	18,000	66.8		
	成果指標(1)		③	㎡	323	261	350	306	350	350	87.4		
	成果指標(2)		④	㎡	2,804	3,065	3,415	3,371	3,721	4,071	82.8		
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	14,707	11,702	18,428	12,443	18,486	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		⑥	千円									
	職員数(正規 非常勤)		⑦	人	1.30	0.90 1.00	0.90 1.00	0.90 1.00	0.90 1.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		⑧	千円	11,692	8,095	8,095	8,095				8,095
		非常勤職員分		⑨	千円	0	2,759	2,759	2,759				2,759
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩	千円	26,399	22,556	29,282	23,297	29,340				
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪	円	573,891	683,515	585,640	647,139	586,800				
	財源	受益者負担分		⑫	千円								
		国・都等からの支出金		⑬	千円	7,118							
		特定財源計⑫+⑬		⑭	千円	7,118	0	0	0				0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮	千円	19,281	22,556	29,282	23,297	29,340					
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	72.0	活動指標(2)の15年度達成率%	66.8	15年度予算執行率%	67.5	雨水流出抑制対策の指導にあたり、基準となる指針から目標対策数量(0.06㎡/㎡)を算出している。小規模住宅(敷地300㎡未満)においては、算出した目標対策量に対する抑制施設数量が、敷地の規模に比較して多いため設置が困難となっている。また、自己負担も増すため申請が少ない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		助成対象敷地面積の拡大は、策定が予定されている東京都総合治水計画や、周辺区の状況を踏まえながら今後の検討課題とする。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の目標対策量 472, 200m ³ (神田川・目黒川水系) 杉並区雨水流出対策推進要綱並びに抑制施設設置指導要綱による達成数量 158,293m ³ 雨水浸透施設設置工事助成による達成数量 3,371m ³ (上記達成数に含まれる)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	①助成金額の増額をして欲しい。
	今後の予測	現在、東京都総合治水計画の策定が進められているなかで、平成16年5月には、特定都市河川浸水被害対策法が施行された。このような状況のなか、水害の軽減を目的とする浸透施設の設置は重要な施策であり積極的に推進するものである。また、雨水循環による自然環境保全に効果的な本事業は、今後拡大していく必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼		理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置によって減らせる。(浸水被害の軽減)また、地下水と湧水の涵養や緑勢の回復に役立つ。
	(2) ①NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由) ▼		理由: 総合治水対策の一環として、また、水害の軽減や自然環境保全など、区民の安全と生活環境の向上に寄与することを目的としており、一層の促進を図るため区が助成を行う必要がある。 理由または具体的内容:
	②協働等は実現しているか ▼		
	③協働等の相手 ▼		
	④協働等の主な形態 ▼		
	(3) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼		理由または具体的内容: 本事業の目標である区内全体の対策数量を変更することなく、敷地規模別に対策数量の算出根拠を設定することにより、対象者の協力が得やすくなる。
②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼		理由または具体的内容: 本事業の受益者は助成対象者ではなく、主に水害の恐れがある区民の不特定多数であり、助成金を受けた区民も浸透施設設置工事費の超過分を負担している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由) ▼		理由または具体的内容: 40万円を上限として標準工事費の約8割を助成しているが、施主は、実費との差額を自己負担しているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 雨水流出抑制数量の算出根拠の変更など、要綱改正の検討を行う。また、現在進めている雨水流出の抑制対策は、浸透施設(浸透ます・浸透トレンチ)を主体に助成制度により推進を図っている。しかし、区民の方々は、施設の効果として浸水被害の抑制や、地下水の涵養には理解を示すが、いざ自分の敷地への設置となると消極的になってしまう。そこで、雨水の再利用を身近なものとする貯留施設(タンク)を助成対象に追加することで、区民の雨水流出抑制対策への一層の理解と協力を
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 雨水流出抑制対策の効果をあげるには、浸透施設と貯留施設の併用が望まれるが、施主の自己負担額の増大が予想される。克服方法としては、助成金の増額が最も効果的であるが、浸透・貯留施設の技術的な検証及び市場の動向を調査しながら、高機能で低コストな製品を民間企業の協力のもと研究・導入について推進していく。
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 雨水流出抑制数量の算出根拠を試験的に変更し効果の検証を行う。また、助成制度により推進を図っている雨水流出抑制対策は、建築確認の申請時を利用して協力要請を行っている。この建築確認時をさらに活用するためPRに重点を置く。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策(私道)				整理番号	612		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	638
係名 私道整備担当係長					上位施策名					No	
予算事業名 私道整備助成					コード	57850		水害対策の推進			10
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				2年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区私道の整備に関する条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則						
	水害のおそれのある地域の住民				(3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装をして数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入を減らすことで河川の増水を抑制し、台風や集中豪雨時の水害を防止する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 透水性舗装工事面積				(1) 雨水の地下への浸透量(施工による量)							
(2) 透水性舗装洗浄面積				(2) 雨水の地下への浸透量(洗浄による量)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m ²	933	62	2,000	1,574	2,000			
	活動指標(2)		m ²	1,487	1,502	1,500	1,591	1,500			
	成果指標(1)		m ² /h	28	2	60	47	60			
	成果指標(2)		m ² /h	45	45	45	48	45			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,795	1,125	24,776	12,548	24,774	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 申請主義のため目標値は定めない。		
	(内)委託費		千円	12,795	1,125	24,776	12,548	24,774			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.25	1.25	1.25	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,243	11,243	11,243	11,243			4,497
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	24,038	12,368	36,019	23,791	29,271			
	単位あたりコスト ÷		円	25,764	199,484	18,010	15,115	14,636			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	24,038	12,368	36,019	23,791	29,271				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	78.7	活動指標(2)の15年度達成率%	106.1	15年度予算執行率%	50.6	透水性舗装工事の希望箇所が少なく計画量に満たなかった。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			透水性舗装工事については、第2次行財政改革実施プランに盛り込み、私道整備助成のあり方の検討を行ったが、その後の第3次行財政改革実施プランの策定の際、現状維持の結論に達した。また、透水性舗装洗浄については、義務的業務のため、受益者負担は考えない。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけではなく区内の低地部にも被害をもたらしているため、事業に対する期待は大きい。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	雨水を地中に戻すことによる水害防止や地下水保護の意義を理解して、協力的ではあるが、耐久性の面で通常の舗装に比べ劣るため、希望するところが少なくなっている。
	今後の予測	区内の不浸透面積は都市化により、ますます拡大されていくと思われる。そのために、透水性舗装の重要性が増していくと考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 都市型水害の防止のためには有効であるが、その成果が目に見えて現れにくい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 雨水流出抑制は、住民、行政等が積極的に取り組むべきものである。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 道路舗装工事業者等 私道整備工事、透水性舗装洗浄委託
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 透水性舗装工事については、受益者負担の原則に沿って、私道整備に対する助成率を引き下げ、区の負担を削減することで、事業量を増加させることは可能だが、当面は困難。[(4)参照]	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 第3次行財政改革実施プランの策定の際、当面、現状維持の方針が出された。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 受益者負担の原則に沿って、透水性舗装工事に対する助成率を引き下げ、区の負担を削減することは可能だが、当面は困難。[(4)参照]	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 私道整備において、私道所有者等の理解を得て、透水性舗装工事施工面積の増加を図る。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由						